

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	上富福祉第1422号
		決裁期日	令和5年11月22日
名称	第4回上富良野町地域福祉計画策定委員会		
日時	令和5年11月22日(水) 13時30分～15時50分		
場所	保健福祉総合センターかみん 多目的ホール		
出席者	(委員) 11名(別紙)、欠席委員3名 (役場) 深山課長、三好主幹、加藤主幹、用川主事、門木主事 (ぎょうせい) 木戸 様		
内容	<p>会長あいさつ</p> <p>草案及び議案の修正について</p> <p>資料に基づき、草案の修正点について事務局より説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4章の目次をより細かく記載した。 ・グラフが見つらい部分があるが、保健福祉課とぎょうせいで話し合い、これから修正を加える。 ・第3次計画時点では、「重層的支援体制整備事業」についての記載はなかったが、法律で示された部分について今回から追加した。 ・地域福祉実践プランの絵の右側の部分について、社会協議会が作成しているものであるとわかるような文言を追加している。 ・5ページ健康かみふらの21計画について、第3次計画に引き続き掲載した。 ・上富良野子ども計画についても仮称ではあるが、記載した。 <p>議題</p> <p>1 第1章について</p> <p>委員～重層的支援体制整備事業は令和2年に社会福祉法が改正されて、市町村の努力義務で立てるよう法律に書かれているかと思うが、ここでは計画を立てるかについては明確に触れていない。保健福祉課としては重層的支援体制整備事業をどのように位置づけているのか。計画をこの5年間で立てる予定であれば、明記しておくことが重要だと思う。</p> <p>事務局～重層的支援体制整備事業に関して、法律改正前から既に通常の事業の中でも行っている部分があるため、具体的に重層的支援体制整備事業という事業名で事業を行うという表記はしていない。様々な分野が一体となった上で、事業を展開して行くことが必要であり、町の方でも今後の方向性については協議中の内容となっている。</p>		

委員～4ページの重層的支援体制整備事業を構成する事業の中に、高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者への支援が位置づけられているが、上の段の表はもう少し法律に基づいた項目を追加するべきではないかと思う。

事務局～重層的支援には様々な項目があり、全部を載せるのか、一部を抜粋して載せるのかというところも含めて、ぎょうせいさんと検討させていただく。

委員～ページ数が限られているのかもしれないが、かなり専門的な用語が書かれているため、参考資料に用語の説明や、各法律の抜粋があれば、よりわかりやすいのではないか。

事務局～一般の人が見てわからないような事業名・用語については、各項目ごとに解説をつけられるようにしたいと考えている。各法律についても、ぎょうせいさんと相談させていただいて、載せられるものについては、できるだけ載せられるようにしていきたいと思う。

委員～5ページの文章の中の順番と表に記載されている順番が違うというところが気になった。順番を統一させてはどうか。また、健康かみふらの21については追加で載せることとしたとの説明があったが、文章中には載せるのか。

事務局～ご意見いただいた通り、重要性による意図的な順番があるわけではないため、上の文章と整合性がとれるような順序に修正させていただく。また、健康かみふらの21が文面に入らなかったため、追加する。

2 第2章について

委員～人口の捉え方として、令和2年度の国勢調査を利用しているが、それ以外の数字は最新になっているためタイムラグが生じる。住民基本台帳を用いて調べるのはどうなのか。また、アンケート調査の凡例に見づらさがある。大切な部分であるため、見やすくする必要がある。さらに、11ページの「高齢者ひとり暮らし世帯と高齢者夫婦のみ世帯の推移」のグラフについて、年度ごとに割合を書くと良いのではないか。

委員～総世帯における割合がわからないため、総世帯数を入れて置いた方がわかりやすい。

ぎょうせい～世帯の詳細が住民基本台帳でどこまで出てくるのかがわからないが、住民基本台帳に変えられるものについては差し替え対応は検討する。Excelの仕様上フォントの大きさを大きくする以外に凡例を大きくする方法はない。色を付けること等で見やすくしていきたいと思う。また、総世帯数を記入することは可能であるため、修正対応する。

委員～30ページの広報・啓発活動のところで、ホームページの掲載とあるが、そもそもホームページが見つらいと感じてしまう部分があるため、課

題であると感じる。

事務局～総務課が担当であるが、情報発信については工夫していきたいと思っている。

委員～14、15 ページについて、まず住民会や町内会等があり、その中の役割として、福祉推進員や福祉係がある。順番として住民会・町内会等を先に記載し、その後に福祉推進員・福祉係を記載してはどうか。また、住民会には、災害時要支援者名簿や個別支援計画の作成、ふれあいサロンの開催等重要な活動がある。現在の文章では、こういった活動をしているのか見えてこない部分があるため、何か具体的な活動を載せて欲しい。

事務局～住民会・町内会の順番についてはご指摘の通り修正させていただく。住民会の活動の中で、「様々な」という表現がかなり漠然ものとなっているため、具体的な活動の名称を掲載することについても、検討させていただく。

委員～9 ページ「一般世帯、一世帯あたり人員の推移」のグラフについて、グラフ掲載の意図がわかりづらい。グラフから読み取れる課題を文章で入れなければならないと感じた。

ぎょうせい～このグラフから読み取れる課題である、「社会的孤立に繋がる世帯が増えている」という一文を載せさせていただく。

3 第3章について

委員～35 ページ (3) 地域福祉活動団体等の育成支援について、福祉推進員・福祉係の前に住民会・町内会等の自治組織を追加していただきたい。

事務局～ご指摘の通り記載させていただく。

4 第4章について

委員～41 ページ、住まいの支援について、民間住宅の耐震化やリフォームと書かれているが、バリアフリーの支援も記載していただきたい。47 ページについて、課題が複雑化・複合化している中で、重層的支援体制整備事業の書き方が簡単すぎると感じる。複合化する課題にワンストップで対応出来るような体制が重要である。

事務局～現在、ワンストップで対応できているが、新子どもセンターができることによってその体制が変化する。まず相談を受け、その後に関係部署で集まり会議を行う形になるかと思う。この内容については更に検討させていただきたい。

委員～48 ページ、総合相談体制の充実のところ、社会福祉協議会の心配ごと相談が挙げられているが、それだけではいけないと感じる。課題が重層化している中で、もっと取り組むべき課題・項目があると思う。

事務局～この部分のみを読むと、総合相談の核が心配ごと相談であると読み取られてしまう可能性があると感じた。町の方でも総合相談体制を整えていかなければならない部分であると考えているため、この記載についても修正をさせていただく。

委員～44 ページ (8) 移動手段の確保の中の施策の方向性で、高齢者や障がい者、子育て中の親子を含め誰もが不自由なく安全に安心して暮らせる町を目指すと記載があるが、取り組みのところには子育て中の親子のことが一つも書かれていないことに疑問を持った。移動支援についてもそうだが、例えば、除雪サービスについて子育て中の親子も対象とする等支援があると良いと思う。

事務局～子育てについての取組みの内容について記載がないため、項目一つ増やし、記載する。除雪サービスについても、内容についてまた検討させていただきたい。また、子育て中の親子の移動手段については以前から予約型乗合タクシーの対象にしてはどうかという提案がある。現状では町の中でまだ方向性が見えてないが、今後は高齢者だけではなく、子育て中の方も含め、移動手段の課題について常に協議していかなければならないと考えている。計画の中に記載することは難しいが、そういったご意見があったということは、所管の方に伝えさせていただく。

委員～53 ページ、地域共生社会の実現の、各種団体等の活動支援の部分についての意見を述べさせていただく。住民会も町内会もコロナ禍でイベントができなかったことからかなりの弱体化しており、今まで活動してきたノウハウも失われてきている。また、加入率の低下や役員の担い手がいないこと等様々な問題がある。ぜひ各種団体等の活動支援の欄に、住民会・町内会の活動支援についての記載を盛り込んでいただきたい。

事務局～住民会・町内会のことについては町民生活課が担当となっているため、補助事業等を確認の上、ご指摘の通り記載させていただきたい。

5 第5章について

委員～成年後見制度については、役場から権利擁護センターの運営受託という形で社会福祉協議会が受託をしている。62 ページ①の中段あたりに、令和5年、権利擁護センターに法人後見の受任体制が整備されたと明記されているが、体制を整備している途中であるため、書き方を修正していただきたい。

6 第6章について

事務局～(2) について、住民会・町内会という記載が抜けているため、追加の

修正をさせていただく予定である。

7 全体を通して

委員～6章 52 ページ、社会福祉協議会との連携強化について、保健福祉課だけではなく、他の課についても載せる必要があるのではないかと考えている。

事務局～役場の部署で連携が不必要な部署はないと考えている。この計画においては、保健福祉課が一番柱となる部署であるため保健福祉課のみの記載となっている。関係部署を全て記載することは難しいため、このような表現となっていることをご理解いただければと思う。

委員～24 ページから 33 ページの文字の間隔、行の間隔等が他のページと違うと感じるため、体裁を統一して欲しい。

事務局～全体的な見た目の部分については、文字やグラフの色等全部含めて、見やすく統一性のある計画の記載内容に修正したいと考えている。

委員～11 月入ってから、障がい者の支援に関する制度が変わってきていると聞いた。制度の変更等があれば、迅速に町民へ伝えていって欲しい。

事務局～制度自体がめまぐるしく変わっていくため、できるだけ早く皆さんに必要な情報をお届けすることを心がけていく。

8 その他

事務局より、今後の予定について説明。

- ・12月25日から1月24日までパブリックコメントが実施される。ホームページに掲載するほか、町内9か所に閲覧場所を設置する予定である。結果の公表については、2月から3月に広報かみふらので周知する。
- ・2月中に最後の地域福祉計画策定委員会を開催したいと考えている。
- ・本日審議、協議、ご意見いただいた内容について、修正後に草案を再度発送させていただく。さらにご意見があればご連絡をいただきたい。

委員～パブリックコメントが行われていることについては、どこで周知するのか。

事務局～広報かみふらにて、閲覧場所の情報と共に周知される予定である。

会長あいさつ

(閉会時刻 15:50)

上富良野町地域福祉計画策定委員会委嘱者名簿

所属団体・機関等の名称及び役職	氏 名	出 欠
上富良野町身体障害者福祉協会 会長	佐 藤 輝 雄	
手をつなぐ親の会 会長	佐 藤 祥 一	
つばさ会 顧問	宮 崎 守	欠 席
上富良野町社会福祉協議会 会長	田 中 利 幸	
社会福祉法人わかば会 理事長 (ケアハウスかみふらの 施設長)	谷 口 靖	
社会福祉法人富良野あさひ郷 (デイサポートかみふらの 所長)	水 野 雄 二	
ボランティアセンター運営委員会 委員長	村 上 孝 子	
上富良野町女性団体連絡協議会 書記	西 川 美智代	
上富良野町老人クラブ連合会 会長	水 島 雅 夫	
かみふ子育てネット「くるくる」	北 村 真貴子	
上富良野町民生児童委員協議会 会長	大 場 富 蔵	
上富良野町商工会青年部 部長	木 津 雅 貴	欠 席
上富良野町住民会長連合会 会長	菊 地 昭 男	欠 席
一般公募	広 瀬 美 奈	